

令和5年度 青森県立八戸西高等学校 スポーツ科学科第1学年

特別授業「地域の子ども達とのスポーツ交流会(10月)」～『スポーツって楽しい』を感じて欲しい～

実施年月日: 令和5年10月31日(火)

実施場所: 本校体育館、グラウンド

概要: スポーツ科学科の生徒が、これまで学習してきた授業内容を活用して、小学生向けの「楽しく簡単にできる運動」を考え、指導者として小学生に運動を指導する交流会である。

対象: 八戸市立三条小学校5年生70名、八戸西高等学校スポーツ科学科1年生40名



スポーツ科学科生徒の感想

後藤 愛翔(下長中学校出身・バスケットボール部)

私はこの交流会で、一生懸命準備してきたものが成功した時の嬉しさを学びました。ずっと前から準備していたもので、初めはうまくいくのか不安でしたが、小学生の皆さんから「楽しかった!」や「準備してくれてありがとうございました!」などの言葉をいただき、「やって良かったな」と思い感動しました。このような経験を進路などに役立てたいと思いました。また、スポーツを通して良い経験ができました。これからも何事にも一生懸命に頑張ろうと思いました。

高瀬 柊汰(十和田市立三本木中学校出身・硬式野球部)

私はこの交流会で準備の大切さを知ることができました。私はユニバーサルホッケーの担当で時間配分を考えながらパス練習、シュート練習をしてゲームをしようと考えていました。たくさん準備してきたつもりでしたが、交流会当日になると思うように進めることができませんでした。それでも自分たちで何とか楽しませたいと、班のメンバーと協力しました。その思いが小学生の皆さん伝わり「楽しかった、ありがとう」と言ってくれたので良かったと思います。今回の交流会で臨機応変に対応する能力を身に付けることができたと思います。臨機応変に動くことは将来、大事になってくると思うので今回の交流会の経験を活かしていきたいです。ユニバーサルホッケーはこの交流会をやるまで体験したことのない競技でしたが、今回の交流会でユニバーサルホッケーの楽しさを知ることができました。スポーツを通して小学生と触れあい、楽しさを伝えることができたこの経験は忘れられないとても良い経験になりました。